

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県飯豊少年自然の家	指定管理者	株式会社飯豊町地域振興公社
所在地	西置賜郡飯豊町大字添川3535-33	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	(電話番号)	(023-630-3343)
検証期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況

① 管理・運營業務の履行状況	指定管理者2年目となった今年度も、県職員と共に運営基準に沿った運営を行えたと考えている。特に、利用拡大に向けた取り組みは、これまでの企画を踏襲しながら新しいことを取り入れ利用者拡大を図ることができた。特に、学童保育、PTA親子行事が増え、大学の合宿利用もあった。 老朽化に伴う修繕、部品交換は今年度も何回もあったが、可能な限りの対応を迅速に行い利用者に対する影響を最小限に抑えることが出来たと考えている。	評価	B ≪評価の理由≫ ・県と指定管理者の連携・協力体制のもと、仕様書に基づき、利用者の安全・安心に努めた管理運営に尽力している。 ・事業内容を更新し、幅広い年齢層から好評を得ている。 ・施設設備の安全点検の実施等により、要修繕箇所などを早期に発見し、対応している。 ・適切な人員体制の確保が必要
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	昨年度上期の人員不足により、清掃や草刈り業務などに遅れが生じたので、業務遂行の人員確保と定着に努め運営を行った。利用団体増加による残業の増加、閑散期に人員過剰になるなどにより人件費が増加した。7年度からは、所員の勤務時間の見直しや配置転換を行うと共に、最低賃金のアップも折込んで、人件費を6年度の実績内に収めるように運営する。消火栓配管に漏水の可能性が指摘され、出来る限り早く県と協議を行い、改善していかなくてはならない。	≪課題等の原因分析≫ ・施設設備の老朽化が進み、要修繕箇所が増加している。 ・夏場の酷暑対策が必要となっている。 ・適切な人員の確保及び配置が必要である。	
課題、問題点への今後の対応	・施設設備の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を実施していく。 ・年々厳しさを増す酷暑については、指定管理者の対応のみでは改善策が困難であり、県としても改善を検討する必要がある。 ・年間を通しての人員体制の見直しが必要である。		

2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及びその対応状況	以前から多くの要望があった「食事中の飲料」の対応として、ウォーターサーバー2台を食堂に設置し好評を得ている。8つのアスレチック遊具は全て復活させたが、誤った使い方をされて2つが破損してしまった。7年度4月中に復活させたい。 所バスで迎えにいった際に「施設名が入っていた方が分かり易い」との意見があったので、バスの両サイドに施設名を入れた。 「野外トイレに洋式便座を導入して欲しい」との要望は6年度もあった。今後も県と協議をおこない、出来る限り早い段階で設置したい。	評価	A ≪評価の理由≫ ・利用者からの要望を施設運営に反映させている。 ・利用者からの意見・要望に対し、積極的に改善し、利用者アンケートにおいては「満足」と「概ね満足」で99.7%と、非常に高い評価を得ている。
意見・要望等への今後の対応	・今後も継続して利用者アンケート等を実施し、寄せられた意見・要望については可能な限り事業実施や施設運営に反映し、更なる満足度向上に努めていただく。		

3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	利用者の中に日本語が分からない外国人が増えてきているので、ホームページの多言語化を行った。直接の声はまだ無いが、韓国語圏、中国語圏の利用者があったので、そのことについて説明を行った。 給湯ボイラー故障で大浴場が使用出来なかった際、公社管理施設「しらさぎ荘」の風呂を無料で提供した。	評価	A ≪評価の理由≫ ・多言語対応のホームページを整備し、新たな利用者へのアピール力を高めている。 ・施設設備の突発的な故障に際して、公社管理施設を活用するなど、臨機応変に対応いただいた。
-----------	---	----	--

② 経費の節減	5年度末より、公社の全ての事業部を同じ供給会社に切り替え、スケールメリットで電気料金を下げる取り組みを行った。併せて、所全体に節電に心掛けてもらうように声掛け、貼り出しをおこなったが、電気料金を予算内に収めることが出来なかった。ペーパーレスを推進していく柱として、ホームページの改修を行った。利用申込みや企画事業の参加申込みをホームページから行えるようにしたこと、メールでのやり取りをスムーズに行えるようにした。	評 価 C	<<評価の理由>> ・事務費や光熱費の節減のため、自助努力を行い、全職員で意識を高く持ち、身近な取組を徹底するなど、経費の削減に努めている。 ・電気料が高騰している中ではあるが、節電による経費の削減を試みている。 ・ペーパーレス化を推進し、経費の削減を推進するとともに利用者の利便性向上に努めている。 ・事業に伴う経費（人件費含む）について収支計画の精査が必要。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	そば打ちの自主企画事業では、地元の講師を招いて指導してもらった。マスコットキャラクター募集の自主企画事業では、飯豊中学校の美術教諭から協力を得て全校生徒(約120作品)から応募してもらった。その内の1点を所長賞として表彰(全校集会で行った)した。雇用募集を行ったが、地元からの応募はなく近隣市からの雇用となった。	評 価 A	<<評価の理由>> ・事業での地元指導者の活用、地域の特徴を生かしたマスコットキャラクターの開発など、地域の活性化に努めている。
総合的な評価		・県と指定管理者の連携・協力体制のもと、安全・安心できめ細やかな施設運営が行われている。 ・事業展開や広報活動においては、これまでの地元で根差したノウハウが生かされ、利用者の回復につながっており、今後も施設の満足度向上に努めていただきたい。 ・今年度から自主事業を実施し、施設や地域の活性化に貢献している。 ・的確な人員体制とし、収支状況については、適切な収支計画に基づき運用するよう改善が必要である。	

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。